

一般質問 (2)

行財政の「見える化・見せる化」
ボランティアの「見える化」を！

藤田 美智子(公明)

質問 市は行財政改革に取り組んでいるが、改善の成果が見えづらい。厳しい財政状況を広く市民と共有する必要がある。事業別行政コストの「見える化・見せる化」を進め、広く市民の理解と協力を得る努力をすべきと考える。見解は。

答弁 分権社会を進める上で市の財政状況を示すことは重要。市民生活に密着した個々の施策、事業の具体的コストをわかりやすく伝える手法を検討する。

質問 市はボランティアの裾野を広げてきた。一方でボランティア登録者からは、活動の場がないとの戸惑いの声もある。貴重な福祉人材の意欲低下を危惧する。新規開拓も含め、「見える化」や「マッチング」を図る必要がある。見解は。

答弁 地域課題や孤立支援の人材育成など、活発なボランティア活用ができるよう社協と連携を図りたい。パンフレット作成等わかりやすい情報提供を行い、ボランティア活動を広げるよう進めたい。

質問 食物アレルギーの児童の死亡事故を検証した上で、緊急時の対応を補完する「子ども安心カード」の活用等、万全の対策をとるべきと考える。見解は。

答弁 「子ども安心カード」について調査研究したい。

市民の側に立った、きめの細かい
行政サービスの向上を求める！

佐藤 公男(公明)



田無第三中学校

質問 障害年金未申請者への周知。障害年金基準を満たしているにもかかわらず、申請していない対象者への周知を図れ。

答弁 提案者のご指摘により、手帳交付時に障害基礎年金案内を配布する。

質問 離婚後の子の監護の取り決め。民法改正により、協議離婚時に未成年の子の面会交流・養育費についてを決めることになったが、約半数が決められていない。離婚届配付時に丁寧な窓口対応を求めたい。

答弁 丁寧な対応で制度周知を

自立した財政運営を！
適正配置に市民の声を！

小幡 勝己(公明)



みどり児童センター

質問 厳しい状況の中、自立した財政運営の認識は。

答弁 自主財源を確保し、見合った歳出構造を確立する。

質問 市民交流施設の名称・運営を明確にせよ。

答弁 運営形態の見直し、施設名称の検討をしている。

質問 交流施設の有料化についての見解を問う。

答弁 各施設の形態等を考慮して、検討・検証する。

質問 みどり児童センターの交流施設への転用は。

答弁 市民交流施設への転用を進める。

質問 谷戸・ひばりが丘公民館の見直しについて。

答弁 内部で検討を進める。

質問 ひばりが丘福祉会館の移転・検討とは。

答弁 改修か建て替えか、

進めるのは、決断!!
教育長不在のツケを取り戻そう!!

浜中 のりかた(自民)

質問 ミストシャワー設置で猛暑対策

質問 猛暑対策として、公園や屋外のスポーツ施設、学校等にミストシャワーの設置を求める。

答弁 ミストシャワーの冷却効果は認識している。今後の検討課題とする。

質問 ひばりが丘中、二中、三中

質問 ひばりが丘中学の建て替えに伴い、ひばり中と二中だけの再編ではなく、三中も含め検討すべき。

答弁 三中も含め、引き続き検討する。

質問 ひばりが丘中、中原小に続いて古い田無三中の建て替えをどのように考えているのか。

答弁 本年度中に中長期的な大規模改修計画を策定。

質問 丁寧な説明を行い、小規模校の統廃合を

意見 対象校の児童・保護者に、丁寧な説明と不安を取り除く対策をしっかりと行って、西東京市の未来のために、子どもたちの学習環境を守ろう。

2学期制を3学期制に戻す

質問 市内公立学校の2学期制を全て3学期制に戻す理由は。

答弁 ①土曜授業の制度が変わり、授業数が確保できるようにになった。②同じ市内で2つの制度があると部活等の日程調整が困難。③アンケートの結果。

意見 1市2制度は義務教育にはなじまない。長い期間試行をしていたので、生徒や保護者、先生に丁寧な対応をお願いする。

市内高齢者の10人に1人が認知症。対策に全力を

今年度中に決定する。
公民館のトイレを洋式化せよ。

谷戸公民館の改修を

質問 谷戸公民館の改修を1月から3月に行う。

質問 西3・4・20号線、西3・4・11号線の整備を。

答弁 東京都に要望する。

質問 谷戸町2丁目コープ東京前の溢水対策を早急に。

答弁 今年度実施設計を行い、来年度工事を実施する。

質問 全中学校でのAED講習を実施せよ。

答弁 本年度実施する。

質問 教育に必要なことは。

答弁 何より安全・安心な学校の実現である。

もっと健康!もっと元気!
西東京市の新しいまちづくり!

酒井 豪一郎(自民)

質問 西武柳沢駅北口街路事業計画について

質問 第三次事業化計画に位置づけられた優先整備路線だ。早急に整備を進めよ。

市長 地元の意向を踏まえ検討する。

質問 商店街通りは事故が頻発しており、歩行区分を明確にする路側帯表示を現実すべきだ。

市長 東京都に伝える。障害者グループホームについて

質問 親亡き後に、子どもを安心して託すことができるケアホーム等の設立を早急に整備せよ。

市長 知的障害者グループホームが4施設開設する。

ひばりヶ丘駅周辺のまちづくりと
子どもの学力の底上げについて

田中 のりあき(自民)



質問 ひばりヶ丘駅北口の都市計画道路の進捗状況、まちづくり事業用地の現状と今後、また駅北口のバリアフリー化の進捗状況について問う。

答弁 都市計画道路3・4・21号線の進捗状況は、契約済み面積で約81・09%である。まちづくり事業用地は、12区画が完成し、3区画を事業協力者にあっせんした。残区画が発生した場合、他の街路事業の代替地に活用する。駅北口のバリアフリー化の進捗状況は、西武鉄道とエレベーター及びエスカレーターを設置に向けた協議を進めている。

質問 駅北口の駐輪場不足

質問 子どもの学力の底上げについて

質問 子どもの学力の底上げについて

質問 子どもの学力の底上げについて

答弁 個人差が大きい学力を定着させるため、地域教育協力を活用して授業の指導補助や個別指導を行っている。各学校での個に応じた取り組みを支援するため、地域の人材活用を図っている。